



音楽はもちろん、動画やゲームにも!

# 圧巻の重低音 完全ワイヤレス



米国SOULから新しい完全ワイヤレスイヤホン「S-PLAY」が登場しました。このブランドならではの迫力の重低音はそのままに、わずか40msの低遅延モードも搭載。カラビナで持ち運びもしやすく、幅広いコンテンツにマッチするお買い得モデルです。

完全ワイヤレスイヤホン

# SOUL S-PLAY

¥OPEN

SPEC ●通信方式: Bluetooth Ver.5.2 ●対応コーデック: SBC、AAC ●連続再生時間: 最大7時間(ケース込み28時間) ●質量: 4.5g(イヤホン片側) ●付属品: イヤホンチップ(S/M/L)、USB Type-C充電ケーブル、カラビナ



受賞

Bluetooth完全ワイヤレスイヤホン  
(8千円以上1万円未満)



付属品一式。パッケージは紙製で環境にも配慮されています。



迫力の重低音、Netflixやスマホゲームも楽しい

VGP審査員 折原一也

米国発の音楽カルチャーやファッションと結びつき、ディープな重低音サウンドで人気を博してきたオーディオブランド「SOUL」。彼らがこの夏に新たに投入した「S-PLAY」は、ズンズン響く重低音とともに、ゲームや動画に最適な低遅延「エンターテインメントモード」を特長とする、1万円未満ながら個性的な完全ワイヤレスイヤホンです。

まず注目すべきは、メカメカしい筐体と印象的なツートーンカラー。これはなんと、日本市場の声を受けて設計されたモノだそうです。たしかにどことなく、SFロボットアニメの世界観を想起させるようなデザインです。さらに製品パッケージには、充電ケースを吊り下げることができるカラビナを同梱するなど、思わず微笑ましくなるようなアイデアが盛り込まれています。

完全ワイヤレスイヤホンとしてのSOUL「S-PLAY」の基本スペックはBluetooth Ver.5.2対応で、SBC/AACコーデック対応。“SOUL”のロゴとブランド名が刻印されたイヤホン本体は、タッチ操作に対応しています。イヤホン重量は片側4.5gで、マイクやアンテナをステム部分に収納していて、耳に触れる部分がスリムなので装着しやすく、軽快なフィット感も魅力といえます。

機能面での最大のトピックは、動画視聴やゲームプレイ時に気になる遅延速度を40msに収める「エンターテインメントモード」の搭載で、右イヤホンの長押しでノーマルモード/エンターテインメントモードを切り替えられます。ちなみに左イヤホンの長押しではオーディオトランスペアレンシー(外音取り込み)が起動します。イヤホン単体7時間(充電ケース込みで28時間)の長時間再生に対応。さらにケースは、ワイヤレス充電にも対応しています。

これだけ個性的なデザインと最先端のスペックを備えながら、1万円を切る価格ということで、期待は高まります。

実際にiPhoneと接続して「S-PLAY」のサウンドを体験してみると、改めてSOULの持つ唯一無二のサウンドキャラクターの魅力に気付

	<p><b>ヘビー級の重低音!</b></p> <p>ドライバー口径は6mmと標準的ながら、そのサウンドは個性派。いかにもSOULらしい、ズンズン響く重低音を持ち味としています。イヤホン本体はIPX4の防水仕様でタフに使えます。</p>
	<p><b>カラビナで持ち運び便利!</b></p> <p>充電ケースは付属のカラビナで気軽に持ち運ぶこともできます。ちなみにイヤホン本体だけで約7時間、充電ケースを含めて最大約28時間再生できるほど、バッテリーも長持ちです。</p>
	<p><b>40ms低遅延モード!</b></p> <p>「エンターテインメントモード」に設定すると、音声信号の遅延を40msまで抑えることが可能。スマホで音楽だけでなく動画、ゲームなどを音ズレを気にせず楽しみたい方にもぴったりです。</p>

かされます。たとえば、エド・シーラン『Shivers』では、ディープに沈む音楽の深さと拡散するエネルギーが圧巻でした。これぞ、洋楽の音楽リスニングに求められるサウンドと唸らされます。J-POPの音楽を聴いても、思いのほか好印象でした。YOASOBI『群青』では優しくナチュラルなボーカルをマスキングすることなく、ズンズンと響くSOUL流の重低音が加わります。完全ワイヤレスイヤホンに重低音を求めるなら、価格以上に魅力のあるモデルなのです。

動画やゲームに向けたエンタメ目的の機能性も優秀です。低遅延「エンターテインメントモード」を有効にしてAppleTV+で配信中的映画『フィンチ』を視聴してみましたが、体に吹き付ける強烈な砂嵐によるパワー、音の密度感、空間再現の巧みな作り込みを実感できました。Netflixで配信中的日本の実写映画『鳩の撃退法』を視聴してみても、映像と声のズレはほとんど気にならないレベル。音空間を上手く作るようなサウンドで、声もナチュラルに響く、エンターテインメント用の完全ワイヤレスイヤホンとして十分な機能があるように思えます。

ゲームではアクションRPGの『原神』をプレイしてみました。ノーマルモードでは主人公の剣の振りに効果音が遅れて聴こえるのに対して、エンターテインメントモードOnなら、主人公が剣を振る際の風切音も半遅れ程度に取ります。これならスマホ向けのアクションゲームも実用範囲内になります。

オーディオトランスペアレンシー(外音取り込み)を有効にすると、積極的に周囲の音を取り込み、中高域がくっきり聞き取れるようになります。たとえばゲームプレイをしながら周囲の音にも気を払いたい用途に活躍してくれるでしょう。

SOUL「S-PLAY」は、個性的な外見のみならず、機能性までも日本のスマホユーザーの利用シーンを考えて作り上げたモデルです。音楽リスニング、そしてエンタメにSOUL流を盛り込んだ、ここにしかない重低音サウンドを、ぜひ体感してみてください。